

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和2年10月20日

事業所名: こども発達さぽーとセンターるぼろ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員規定は満たしています。活動やグループの状態に応じて棚、机等配置を変えるなどして使いやすいスペースの工夫をしています。	はい 25 どちらともいえない 0 いいえ 1 わからない 4 無記入 1 ・コロナの影響で施設内へ入れない状況の中、このアンケートはおかしくないですか？現状を答えるアンケートですよね？毎年同じものを出しているんでしょうけど。 ・コロナの影響で施設内に入れないので状況がわかりません。	新型コロナウイルス感染症においては当初見通し、予測が出来ず、その中で評価アンケートを進めてまいりました。ちぐはぐしたこと申し訳ありませんでした。しかし、参考にして、できることを考えています。今後も活動に応じて部屋を使用できるように適宜部屋の棚の配置などを調整していきます。
	2 職員の適切な配置	1つのグループに2名の担当職員を配置しながら必要に応じて増員しています。	はい 21 どちらともいえない 2 いいえ 1 わからない 6 無記入 1 ・コロナの影響で施設内に入れないので状況がわかりません。 ・中での様子がよくわかりません。 ・たくさんの子どもを見てもらっている。先生が	基準を満たす担当人数で対応しています。グループの状態、活動に応じて担当者を増員しながら対応しています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	必要に応じて絵カードでスケジュールを提示したり、クッキングの手順を写真で提示したりしています。また、身の回りの整頓がしやすいようにロッカーには名前や手順を表示しています。	はい 26 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 3 無記入 1 ・コロナの影響で施設内に入れないので状況がわかりません。 ・中での配置を最近見ていないのでよくわかりません。	活動グループに応じて表示の仕方を変えたり、特性に合わせて環境を設定していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎朝の清掃、除菌のためのふき取りを随時行っています。	はい 27 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 2 無記入 2 ・コロナの影響で施設内に入れないので状況がわかりません。 ・最近外でしか対応していないのでよくわかりません	今後も継続していきます。
1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	療育日によって担当者が変わり、皆がそろう時間が持てない為、業務改善の為の話し合いの時間を設定できていませんが、月に1回は必ず職員会議の時間を設け、その中で話し合いの場を持つようになっています。		今後も職員会議の中で支援方法についての相談や業務の負担などについて話し合い、改善できる部分は変更していきます。必要なことは関係者での話し合いも随時取り入れていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
業務改善	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していません。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員がそれぞれ各自研修を見つけて参加しています。今年度は外部からのスーパーバイザーによる研修ができていません。情勢を見て検討していきます。		今後も積極的に研修に参加するとともに、スーパーバイザーに来ていただき、実際の場面をみていただきながら助言を頂けるように計画を立て、職員のスキルアップを目指します。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	各担当者が実際に子どもの姿を見たり保護者からの聞き取りを行いながら支援計画の作成を行っています。また月に1回の職員会議において支援方法についての相談ができる時間を設けています。	はい 29 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 0 無記入1 ・よく考えてくださっていると思います ・モニタリングや活動後の説明で分かりやすく説明していただいているので助かってます	継続して職員会議を通して、様々な職種・職員が意見を出し合い、様々な視点からアセスメントを行います。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別療育を実施している児は個別療育の担当者にも意見を求めて支援計画の作成を行っています。		
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援計画の中で専門用語を少なくし、できるだけ具体例を挙げるなどしてわかりやすく書けるように努めています。	はい 28 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 1 無記入1 ・問題ないです。	引き続き、具体的な計画を立て、実際の療育で実施していきます。
適	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画の目標を意識しやすいように、記録用紙と一緒に目標を書いた用紙を準備しています。	はい 26 どちらともいえない 3 いいえ 0 わからない 1 無記入1 ・大丈夫です	引き続き、支援計画の目標に沿った活動を取り入れていけるようにします。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	月間活動予定を立てることで事業所全体での活動の見通しを持ちながら、各グループの担当者と相談し活動を決定しています。		引き続き、全体での見通しを持ちながら、グループの担当者と相談し子どもにあった活動を計画していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇には、療育時間を変更し療育を実施しています。		引き続き、長期休暇には療育時間を変更しゆとりをもって子どもと関われるようにしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
切 な 支 援 の 提 供 (続 き)	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	必要に応じて活動のある程度固定化して定着を図っていることもあります。子どもたちが活動計画を立て、実行の支援をするようにもしています。	はい 23 どちらともいえない 5 いいえ 1 わからない 1 無記入1 ・さまざまな目標を立ててされています。 ・週によって子どもたちと相談して決めてもら	子どもの発達に応じて活動のある程度固定化しているところもありますが、子どもたちが活動計画できるようにしながら毎回の活動に変化を持たせ実施します。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎朝担当者同士で活動内容や役割を確認、相談してから活動を行っています。		引き続き、担当者間で共通意識を持てるように相談をしていきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日時間を決めて、本日の振り返りをしていましたが、みんなが集まっての時間が持ちにくくなっています。担当者間では終了後の反省で子どもの気になった部分があれば次回どうするのか等の話しをしながら記録をとっています。		担当者間で療育終了後に次回の確認事項などを確認し、必要なことは職員に周知できるように声をかけていきます。特性に応じた支援を行うことができるように工夫していきます。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日の日誌の様式を変更し、記入方法のポイントを確認し合いました。記録を見ることで子どもの姿が捉えられるような日誌にしています。それを基に支援の改善を考えています。		記録内容、記載方法の充実を図りながら、記録を参考にしながら、支援方法を工夫し特性に合わせた関わりができるようにしていきます。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回支援計画の見直しを行っています。モニタリングは他事業所を含め、月に1回のモニタリングを行っています。		継続していきます。
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	必要に応じて小集団や個別療育の担当者が担当者会議に参加しています。		引き続き、子どもの状態を把握している担当者が担当者会議に参加し、他事業所と共通認識をもてるようにしていきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
関係機関との連携	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		引き続き、関係機関と担当者会議を行ったり、報告書を通して支援方法を伝えるなどして情報を共有していけるようにします。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、				
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要な研修があれば積極的に支援センターと連携をとっていきます。			
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	今年度は特に交流を持つ機会を作れていません。	はい 10 どちらともいえない 2 いいえ 3 わからない 15 無記入 1	交流プログラムがあるのか知りません	今後の課題として考えていましたが、今後の情勢を見ながら検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今年度は、交流を持つ機会を作れていません。			
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・毎回契約時に重要事項説明書で説明をしています。 ・契約内容の変更時には変更内容をお伝えしています。 ・療育終了後のフィードバックで毎回支援内容をお伝えしています。	はい 29 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 0 無記入1	・理解しています	引き続き、支援の内容、利用者負担等について変更があったときには適宜保護者の方にお伝えしていきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画を実際に保護者の方と読みながら内容の確認を行っています。	はい 20 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0	・してくださっています。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	年に数回親講座を実施し、保護者の方に参加していただいています。保護者のニーズに応えられるように内容も工夫しています。	はい 24 どちらともいえない 2 いいえ 1 わからない 3 無記入1 ・なかなか参加できず心苦しいです ・参加したいがなかなか日が合わない。仕事の勤務表が出てからなのでもう少し早く分かればいい	引き続き、療育現場から見た課題や保護者の今の問題を考えていけるような親講座を実施していきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎回小集団療育終了後に、保護者の方に対してフィードバックを行っています。	はい 27 どちらともいえない 3 いいえ 0 わからない 1 ・フィードバック時に説明していただきます	必要に応じて連絡ノートを使用できるようにします。全体のフィードバックのみでは伝えきれなかった事については個別に声をかけさせていただきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者の方から相談があったときには面談の時間を設定し、個別でお話をさせていただいています。	はい 23 どちらともいえない 6 いいえ 0 わからない 2 ・あまり感じないです。 ・立ち話など何かあった時に相談できる。短	相談があるときには時間をとらせていただくことを再度全体に周知させていただきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会を設けていません。親講座の時に保護者同士で話をする機会を作っています。	はい12 どちらともいえない 5 いいえ 7 わからない 6 無記入1 ・コロナウイルスの影響で機会がないように感じます。	引き続き、同じ地域の保護者同士の意見交換の場を親講座等を通して設けていきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	重要事項説明書に記載しており、契約時にもお話をしています。苦情があったときには当日に保護者と面談を行ない対応しています。	はい 17 どちらともいえない 3 いいえ 1 わからない9 無記入 1 ・連絡をきちんとさせていただきます ・今まで聞いたことがないので ・以前月謝のお支払いを通帳引き落としに変更する際他の人の記入済用紙が手渡されたときすぐ返却しましたが(用紙を渡してくださった先生に)言い訳だけされて謝ってもらえませんでした。	意見を頂いたときにはまず、上司への報告をおこない、関係者と共に苦情対応マニュアルに従って、迅速に対応していきます。至らない点はしっかり受け止め誠実に対応するように周知、実行していきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	小集団終了後に毎回フィードバックを行っています。写真やビデオでお伝えすることもあります。子どもに対しては必要に応じてカードを使用してスケジュールを提示しています。	はい 23 どちらともいえない 3 いいえ 0 わからない 4 無記入1 ・毎回のフィードバックで教えて下さってま	今後も子どもに応じた情報伝達方法を選択できるようにします。保護者の方へ対してもわかりやすくお伝えできるようにフィードバックで実物をお見せしたり、実際に活動のみえていただける機会をつくったりします。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月るぼろ便りで予定や各グループの活動紹介、避難訓練実施の報告などを行っています。	はい 29 どちらともいえない 2 いいえ 0 わからない 0	・療育の内容を伝えてくださって会話のきっかけを作ってください	引き続き、継続していきます。	
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報の取り扱いについて説明し了承を得たうえで同意書にサインを頂いています。職員の意識向上にも気を付けています。	はい 28 どちらともいえない 1 いいえ 1 わからない 1	・十分です ・個人情報が心配です	引き続き、個人情報を厳重に取り扱っていきます。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・はおとの森こども園と一緒にマニュアルを作成し、重要事項説明の中でお知らせしています。各マニュアルに沿って、定期的に研修を行っています。	はい 20 どちらともいえない 3 いいえ 1 わからない 6 無記入1	・よくわかりません ・聞いた覚えがなく ・何年か前にスライムでは蕁麻疹が出るので使用させないでくださいと当日先生に伝えてたのですが、使ってじんましんがお迎えの時に出了ましたが、連絡ありませんでした。	保護者に配布するお便り等でお知らせできるようにします。感染症においては発生状況に応じて、随時声掛けをしていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎月1回、施設全体で様々な場面を想定し訓練を実施しています。放課後ディサービスの時間に実施することは少ないですが、職員はスムーズに対応できるように訓練を行っています。	はい 12 どちらともいえない 4 いいえ 0 わからない 14 無記入1	・よくわかりません。	引き続き、避難訓練を実施したことを毎月のるぼろ便りでお知らせできるようにします。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止に関する責任者を選定し、虐待の防止を啓発・普及するための研修を実施しています。			リスクマネジメント会議を行ったり、職員間で情報を共有していきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時に説明しています。身体拘束に対する考え方、受け止め方の共通理解をし、必要な場合においては適切な手順で対応します。			
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時、アレルギーについてチェック記入していただき、クッキングの際には、保護者の方に使用する食材の中でアレルギーがないかの確認をしています。			継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリとした場面があったときには報告、記載し、リスクマネジメント会議で職員に周知します。		引き続き、危ない箇所をヒヤリハット報告書を通して全体で把握できるようにしていきます。